

オーディオ実験室収載

オーディオ機器用防振 BOX の効果(5)

—メモリーカードリーダーの設置—

1. 始めに

前報(3)と(4)で CD ドライブと外付け HDD の設置効果がありましたので、メモリーカードリーダーの設置に応用してみました。

2. オーディオ機器用防振 BOX の試聴方法

メモリーカードリーダーは通常、CD ケースの上とか、外付け HDD の上とか、EMT981 の上とか、あまり意識せずに空いたところに置いています。これを写真のように単体で防振 BOX の上に設置してみました。



512sDSD、256sDSD、128sDSD などの音源を SD メモリーから読み出して PC にインストールした HQPlayer Desktop 3 ASIO により DSD Naïve で micro iDSD に送り出します。

試聴ルートは下記のとおりとします。

PC→micro iDSD→DA-3000 (44.1 KHz) →MYTEK DIGITAL 192-DSD
(DA-3000 よりクロック供給)

ここで、DA-3000 には ABS-7777 から 44.1 KHz のクロックを供給します。PC と micro iDSD は USB リバメンテで接続します。

メモリーカードリーダーは ES-OT4 に直結し、読み出しは下記のとおりとします。

メモリーカードリーダー→【ES-OT4】→PC
(USB リバメンテ×1)

3. オーディオ機器用防振 BOX の試聴結果

SD メモリーは固体メモリーでリジッドなものですから、さほど効果はないものと予想に反し、防振 BOX に設置すると、CD ケースなどの上に置いていた場合に比べて

外付け HDD ほど大きな効果はありませんでしたが、やはり低域がしっかりして全体に音がクリアになりました。

4. まとめ

MC 用のトランス、フォノイコライザー、USB DAC、CD ドライブ、外付け HDD などと同様の効果がメモリーカードリーダーでも認められました。防振 BOX はフォノイコライザーと MC 用のトランスに共用で使用していく予定ですので、その他の USB DAC、CD ドライブ、外付け HDD、メモリーカードリーダーなどの現在の設置方法を全面的に見直していくつもりです。

以上